

令和7年度春期 システムアーキテクト 午後I試験 解答速報

(株) アイテック IT人材教育研究部 2025.4.22 発表

問1 消耗品の集中購買化とそれに伴う業務システムの新規構築

【解答例】

[設問1]

機能名：データ集計機能

金額：前月分でステータスが検収済の合計金額

[設問2]

機能名①：相見積取得及びスポット注文機能

理由①：契約期間中は契約先事業者を変更できないから

機能名②：商品単価変更機能

理由②：契約期間中は単価を変更できないから

[設問3]

(1) 納入先施設

(2) A市規定類に基づき、納入指示した納入は契約期間内までに完了させる必要があるから

(3) 用途：予算の都合から発注数の合計数量を発注予定数量以下にする用途

状況：特定の物品の発注数の合計数量が発注予定数量よりも多くなりそうな状況

問2 営業活動を支援するシステム

【解答例】

[設問1]

提案書作成中、辞退、提案書提出済

[設問2]

時間帯：当日の顧客取込機能の実行開始時刻以降の時間帯

理由：商談概要は登録済みの顧客情報にひも付けて登録する必要があるから

[設問3]

(1) 見積額、リスクレベル

(2) 所属組織と役職から機密情報への権限を付与するから

[設問4]

(1) 直近5年間よりも前に商談があった顧客

(2) 名刺サービスでは名刺交換日を基に名刺情報の新旧を判断するから

(3) 将来的には、新システムを社内他システムのフロントシステムとしても活用すること

問3 不動産売買仲介システムの再構築

【解答例】

[設問1]

物件の所在地を基に地域マスターを参照して、該当する営業担当者を割り当てる。

[設問2]

- ① マネージャが、媒介契約で紹介文に K 社として不適切な記載がないかどうかを目視でチェックする。
- ② 営業担当者が、媒介契約で過去のセールス内容を検索し、魅力的で効果的な紹介文を作成する。

[設問3]

- (1) マネージャが売却許可の申請を承認した後
- (2) 折衝履歴情報
- (3) 直近の営業活動報告書の提出日に契約別報告間隔を加算してから現在の日付を減算する。

[設問4]

- (1) 物件ステータスの値が“成約済”又は“決済済”又は“売却済”の媒介契約数
- (2) 物件ごとに物件ステータスが推移した日付を含む物件ステータスの推移状況

以上